

評価シート（年度評価）

名古屋能楽堂の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋能楽堂の管理		
評価対象期間	平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月	指定管理期間	平成 30 年 4 月～令和 5 年 3 月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	○	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
能楽公演の縮小が続いている状況の中、舞台の利用促進を図るため、能楽以外の使用においても利用者の要望を最大限実現できるよう、技術と経験を持った職員が丁寧にサポートを行った結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の1月末時点での舞台利用率は75.2%と計画値・前年実績値ともに上回った。 施設事業では、小中学生が能・狂言に親しみを持つきっかけ作りとして「小中学生芸術鑑賞会」や「夏休み親子能楽堂まつり」を実施し、能楽を次世代に継承していくための取り組みを行った。

施設の現状

能楽堂

施設の現状	施設概要							
	能楽その他の伝統芸能の振興を図るとともに、文化活動及び観光の推進に寄与するために設置された施設です。具体的には、舞台等施設の貸出や、能楽の定例公演の開催、展示室の運営等を行っています。							
	市の収支状況(千円)（元年度決算見込み額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
99,058	10,123	109,181	14	9,172	99,995	109,181	36,835	
特記事項								
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	利用率(舞台)		%	73.3	71.6	73.4	70.5	
	収支率		%	48.0	46.3	46.8	38.5	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載